

長崎大学から学ぶ！ 道路インフラを維持管理する「道守制度」とは

国際協力機構(JICA)が実施する課題別研修「道路アセットマネジメント A」に9か国11名の研修員が参加し、約1か月の間道路アセットマネジメント手法について学びます。本研修では、長崎大学大学院工学研究科インフラ総合研究センターを訪問し、同センターが長崎県と連携して進めている「道守制度」や橋梁維持管理について視察します。

地方自治体や地元の民間企業・住民を巻き込み進められている道守制度とはどのような取組でしょうか。また、研修員の目にはどのように映るのでしょうか。

<研修概要>

- 研修名：2024年度課題別研修「道路アセットマネジメント A」
- 研修目標：本国内における道路アセットマネジメント定着に向けた取組状況・研究開発状況の理解や点検データを活用した予算計画策定・健全度推移予測手法の理解・習得を通じて、自国の道路アセットマネジメントの定着に向けて必要な対応策や改善策が策定される。
- 研修参加国：9か国
コートジボワール、フィジー、リベリア、モザンビーク、ナイジェリア、パプアニューギニア、ソマリア、タジキスタン、ウガンダ
- 日程

日付	時間	プログラム
9/18(木)	10:00~12:00	実習：コンクリート橋の点検実習（鏡橋）
	14:15~16:15	実習：鋼橋の点検実習（仙舞橋）

場所：鏡橋（長崎市三ツ山町1819地先）及び仙舞橋（長崎県長崎市向町1184地先）にて実施予定。

※ プログラム内容等が、変更になる場合があります。

※ 取材をご希望の場合は、下記問い合わせ先にご連絡ください。

【本件に関する問い合わせ先】

東京センター 経済基盤開発・環境課 亀井千裕

TEL 03-3485-7659 e-mail: Kamei.Chihiro2@jica.go.jp

（電話受付時間：午前9時30分～午後5時00分）